

都市規模別の目標・指標の検討

都市規模別の目標・指標の検討のためには、「都市規模」の設定、規模ごとの社会資本整備への要請の相違及び社会資本整備状況の整理が必要。

都市規模設定の考え方

- ・総務省が各種統計に用いている都市規模の設定に準ずる
 - 総務省の各種統計の都市規模の設定は地方自治法を基としている
 - 既存の統計書の利用、既存のアンケートの利用に鑑みる

分類	要件	総務省の各種統計上の区分
大都市	東京都区部、政令指定都市	特別区、大都市
中都市	人口30万人以上の都市	中核市
中都市	人口30万人未満10万人以上の都市	特別市、中都市
小都市	人口10万人未満の市	小都市
町村	町、村	町村

都市規模ごとの社会資本整備状況の調査方法

- ・既存の統計書等から整備状況を把握する
 - 目標・指標の検討に資する定量的な基準となる

施設	参照値(例)
道路・橋梁	実延長、面積、橋梁数など
公園	箇所数、面積
廃棄物処理場	処理人口、処理計画人口、年間総処理量など
上水道	給水施設能力、給水人口
下水関連施設	排水人口、排水区域面積、終末処理場数など

総務省監修の「公共施設状況調」、「地方公共団体 決算統計ハンドブック」による

今後の検討方向

検討課題

目標の決定に際しては整備率に留まらず、社会資本整備への要請等を把握することが必要

住民と行政の双方の視点から、社会資本整備に対する要請を把握する必要

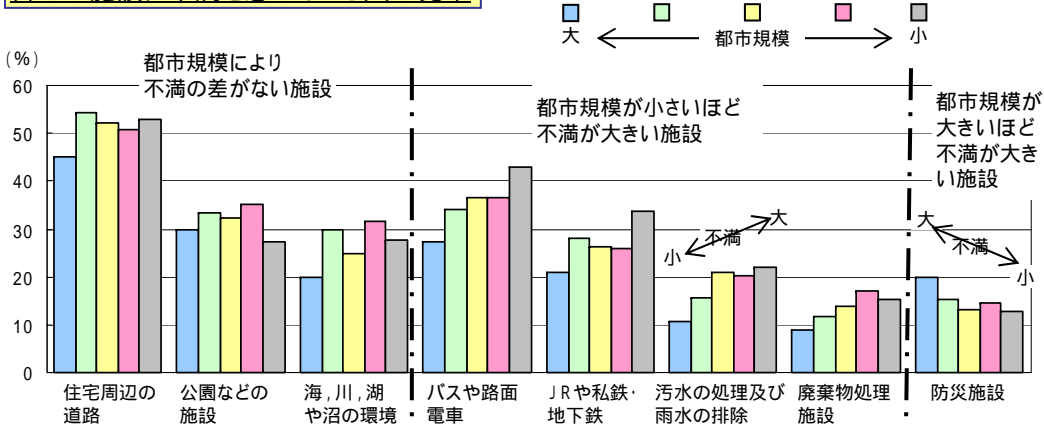
調査手法

- 1) 既存の統計書より都市規模別の整備状況を把握
- 2) 世論調査の整理により、住民側の要請状況を把握
- 3) **地方自治体にアンケートを実施し**、行政側の要請状況を把握

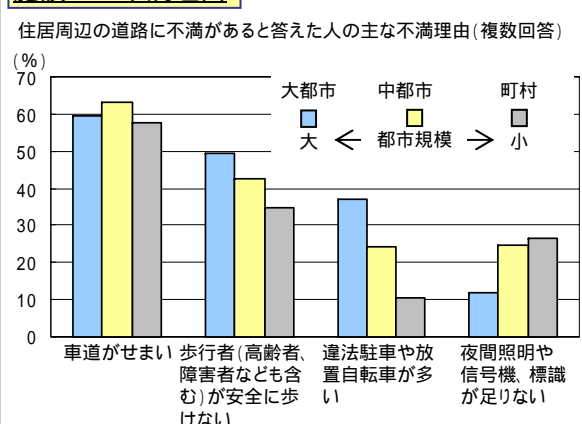
都市規模ごとの社会資本整備への要請(平成16年6月、「社会資本の整備に関する世論調査(内閣府)」より)

- ・都市規模により社会資本整備への要請が異なる可能性、また不満理由も都市規模により異なる可能性
 - 都市規模が大きくなるにつれ、防災施設に対する不満が増加する傾向にある
 - 都市規模が小さくなるにつれ、公共交通インフラや下水道・廃棄物処理施設に対する不満が増加する傾向にある
 - 不満理由について、例えば住宅周辺道路では、大都市では歩道や違法駐車の問題、町村では夜間照明や信号機等への不満が高い

各々の施設に不満を感じている人の比率



施設への不満理由



社会資本への整備要請と整備率との関係を把握し、都市規模別の目標・指標の設定可能性を検討